

TOTO

リモコン便器洗浄ユニット (HE10JK系・HE20JK系)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---

警告	
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない 火災の原因になります。
	電気器具なので、絶対に水をかけない 故障や事故の原因になります。
	ACアダプターをぬれた手で触らない 感電の原因になります。

警告	
分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理、改造は行わない 故障や感電の原因になります。
水場使用禁止	水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気の多い場所、 特に浴室やシャワールームで使用しない 故障や感電の原因になります。
必ず実行	ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分 差し込む 火災の原因になります。

注意	
禁止	器具に強い力や衝撃を与えない 故障や事故の原因になります。
必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障や事故の原因になります。
必ず実行	取り付けの際は止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

HE10JK系・HE20JK系共通部品				
便器洗浄ユニット (1個)	リモコン ハンガー (1セット)	受信ユニット ハンガー (1セット)	ACアダプター (1個)	
ハンドル (1個)	ストッパー-A(黒) (1個)	回り止め (1個)	スペーサー(丸形) (1個)	サンドペーパー (1枚)
ピン (1個)	シール (1枚)	ナット (1個)	皿ねじ(ストッパー用) M3×10(1本)	コードフック (7個)
単三乾電池 (2個)	固定具類(3袋) 十字穴ねじ タップねじ φ4×30(2本) アンカープラグ (2本)	固定部品 ねじ① φ4×30(3本) ねじ② φ3×10(1本)	固定板(2個) ねじM2×24(2本) 	施工説明書 (1部)
取扱説明書 (1部)				

HE10JK系専用部品		HE20JK系専用部品		
レバー(灰) (1個)	<HE10JK系②>のみ使用 スリットカバー(黒) (1個)	レバー(灰) (1個)	レバー(ピンク) (1個)	ピン (1個)

仕様

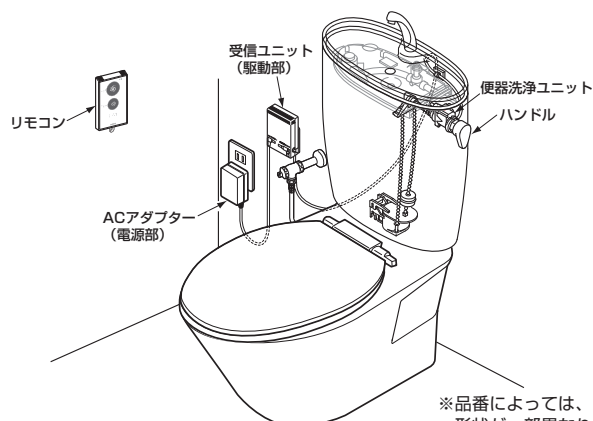
電源	駆動部	AC100V 50/60Hz	電源コード長さ	1.9m
	リモコン部	単三乾電池 2個	主要材質	ABS樹脂
消費電力	常時1W 駆動時30W	周囲使用温度範囲	0~40℃	

取り付け前に

- 電気製品ですので受信ユニットや、ACアダプター、リモコンに水をかけないようにご注意ください。また浴室内では使用しないでください。
- 電源はAC100V(50/60Hz)です。当商品と他の電気機器を併設する際の電源用コンセント布設に関しては、必ず電気工事店様にご依頼ください。
リモコンの送信部や受信ユニットの受信部を傷つけないよう十分ご注意ください。
- 当商品はすべて右ハンドル専用です。
- 連立対応については、下記URLの「施工情報」
→「リモコン便器洗浄ユニット連立対応方法」をご覧ください。
(URL)<http://search.toto.jp/contents/navi/>



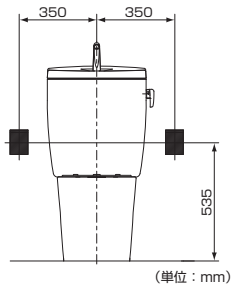
各部のなまえと全体構成



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

取付位置の確認

受信ユニットの取付位置を確認する。



警告



止水栓の真下やまわりにリモコンや受信ユニットを置かない。結露などにより火災や感電、故障の原因になります。

-受信ユニット推奨位置
- 注1) 給水位置の下には、受信ユニットを置かないでください。
- 注2) リモコンと受信ユニットは、できるだけ同じ側に置いてください。
- 注3) 棚があると、受信性能が低下しますので、棚の下には設置しないでください。
- 注4) 受信ユニットは必ず480mm以上の高さにして、便器洗浄ユニットのコードとACアダプターのコードが届く範囲内で設置してください。
※コード長さ 便器洗浄ユニット1.5m

施工手順

下記表を参考に、該当商品を選び、施工手順に従って取り付けてください。

【商品別該当品番 (タンク) 一覧表】

<HE10JK系-①>

ビュアレスト/ビュアレストEX/ビュアレストQR (一般地・寒冷地)

タイプ	SH110B系	SH112B系	SH50B系	SH60B系	SH260B系
シリーズ	SH111B系	SH113B系	SH51B系	SH61B系	SH261B系
商品番号	SS110BF・BN系	SS112BF・BN系	SS50BF・BN系	SS60BF・BN系	SS260BF・BN系
	SS111BF・BN系	SS113BF・BN系	SS51BF・BN系	SS61BF・BN系	SS261BF・BN系

<HE10JK系-②> ※注

QR(一般地)/レスティカ(一般地)/CSR(一般地)/マンションリモデル/その他

タイプ	SH30B系	SH90B系	SH670B系	SH560B系	SH370系
シリーズ	SH31B系	SH91B系	SH671B系	SH561B系	SH371系
商品番号	SH32B系	SH92B系	SH680B系	SH564B系	SS370BA系
	SH33B系	SH93B系	SH681B系	SH565B系	SS371BA系

<HE20JK系-①>

QR(寒冷地)/レスティカ(寒冷地)/CSR(寒冷地)/NEW CS/その他

タイプ	SS30BF・BN系	SS90BF・BN系	SS680BF・BN系	S790BF・B
シリーズ	SS31BF・BN系	SS91BF・BN系	SS681BF・BN系	S791BF・B
商品番号	SS32BF・BN系	SS92BF・BN系	SS370BF・BN系	
	SS33BF・BN系	SS93BF・BN系	SS371BF・BN系	

<HE20JK系-②>

CSR(寒冷地)/CS430系/NEW CS

タイプ	SS670BF・BN系	SS430B系	SS430BF・BN系	S770BF・B
商品番号	SS671BF・BN系	SS431B系	SS431BF・BN系	S771BF・B

※注) <HE10JK系-②>のみ
金属玉鎖の場合は、オプション品HH08008Zをご注文ください。
上記品がないと、リモコン便器洗浄は取り付けません。

HE10JK系-①の場合

①、②、③～⑤、④～⑤を参照してください。

HE10JK系-②の場合

①、②、①～③、⑤～⑧、④～⑤を参照してください。

HE20JK系-①の場合

①、③～⑤を参照してください。

HE20JK系-②の場合

①、③～⑤を参照してください。

共通

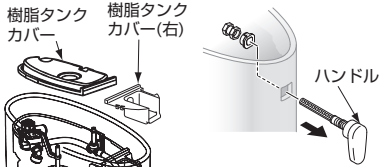
① 既設ハンドルの取り外し

- 止水栓を閉めてロータンク内の水を抜く。
- ロータンクふたを取り外す。

HE10JK系-①の場合 HE10JK系-②の場合 樹脂タンクカバーも取り外す。

※流動方式の場合は、流動レバーを外さないで樹脂タンクカバーが外せないようになっています。

- 既設のハンドルを取り外す。



HE10JK系-①の場合のみ

- 樹脂タンクカバー(右)を取り外す。

※取り外したハンドル部品は使わないでください。

流動方式の場合

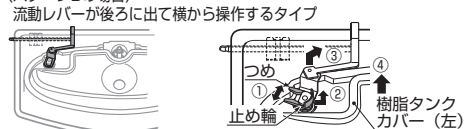
商品によって流動レバーの形状が異なります。

(パターンAの場合)



- 止め輪のつめ部分を広げます。
- 止め輪をスライドさせ、外します。
- 流動レバーを外します。
- 樹脂タンクカバー(左)を持ち上げて外します。

(パターンBの場合)

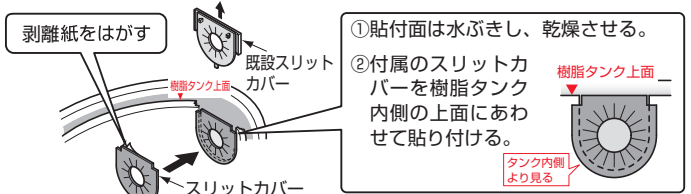


HE10JK系

② 便器洗浄ユニットの取り付け

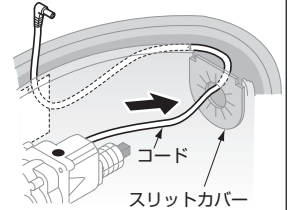
HE10JK系-②の場合のみ

- 既設のスリットカバーを外したあと同梱のスリットカバーを取り付ける。



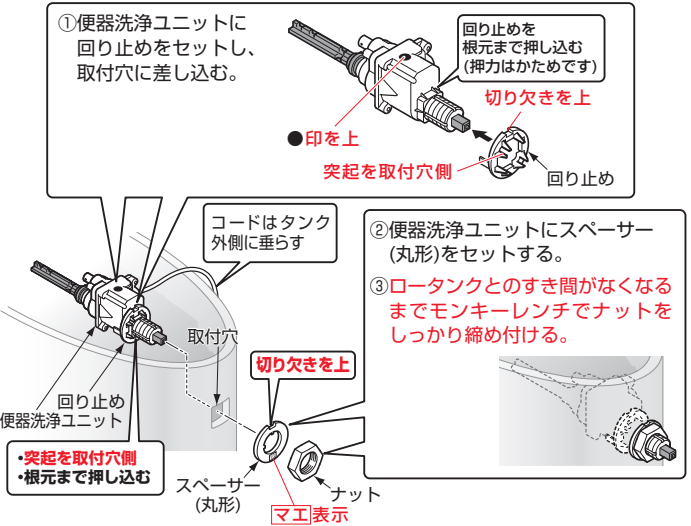
HE10JK系-②の場合のみ

- コードをスリットカバーに通し、便器洗浄ユニットを取付穴に差し込む。



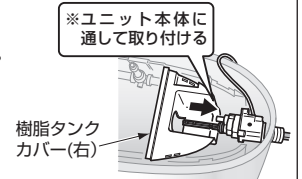
HE10JK系-①の場合はここから

- 便器洗浄ユニットの●印を上にしてロータンクに取り付ける。



HE10JK系-①の場合のみ

- 外した樹脂タンクカバー(右)を取り付ける。

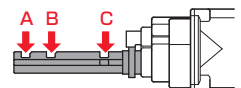


- 便器洗浄ユニットのピン固定位置までレバーを差し込みピンで固定する。

レバーが抜けないことを確認する

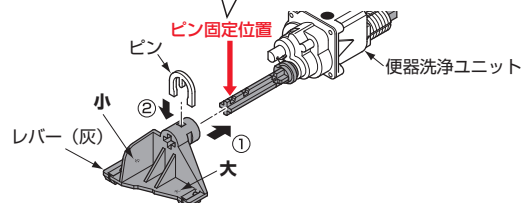
HE10JK系-①の場合 → A

HE10JK系-②の場合 → BまたはC (下表参照)



QR(一般地)	SH30B系、SH31B系、SH32B系、SH33B系
レスティカ(一般地)	SH90B系、SH91B系、SH92B系、SH93B系
CSR(一般地)	SH680B系、SH681B系
その他	SH370系、SH371系、SS370BA系、SS371BA系

マンションリモデル	SH560B系、SH561B系、SH564B系、SH565B系
CSR(一般地)	SH670B系、SH671B系



⑥ハンドルを取り付ける。

① **印を上**にしてストッパー-Aをはめ込み、皿ねじで固定する。

注意
ガタツキがないようにしっかり締め付けること **印を上**

②「カチッ」と音がするまでハンドルを差し込む。

シールを貼る

⑦玉鎖の長さを調整する。

玉を横にして丸いへこみ部に入れ、スリットの奥まで確実に差し込む。

玉を横にせず丸いへこみ部に入ると、奥まで入らず、玉鎖が作動中に外れることがあります。

排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたります)

注意
【玉鎖の長さ調整】
・玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと

たるみすぎ **張りすぎ**

排水弁(小) 排水弁(大)

1~2玉

ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない

弁が開いていて止水しない

⑧ハンドルと排水弁の作動を確認する。

- ①ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ②レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ハンドルを「大」側に回したときは、上下両方の排水弁が開くこと。
- ④ハンドルを「小」側に回したときは、上側の排水弁のみが開くこと。

小洗浄
大洗浄

便器洗浄ユニット取り付け後は、

④コードフックの取り付けとコードの配線に進んでください。

HE20JK系

③ 便器洗浄ユニットの取り付け

①便器洗浄ユニットの△印を上にして、レバー(ピンク)、レバー(灰)、スペーサー、ピンを取り付ける。
※ピンをセットしたあとレバーが抜けないことを確認する。

左給水用 先端側の溝に差し込む

右給水用 根元側の溝に差し込む

ピン

スペーサー

レバー(灰)

レバー(ピンク)

便器洗浄ユニット

HE20JK系①の場合
A刻印を上

HE20JK系②の場合
B刻印を上

C表示をスペーサー側
上面より見る

②便器洗浄ユニットの△印を上にして、ロータンクに取り付ける。

①便器洗浄ユニットに回り止めをセットし、取付穴に差し込む。

△印を上
回り止めを根元まで押し込む(押力はかためず)

切り欠きを上

突起を取付穴側

回り止め

コードはタンク外側に垂らす

②便器洗浄ユニットにスペーサー(丸形)をセットする。

③ロータンクとのすき間がなくなるまでモンキーレンチでナットをしっかりと締め付ける。

突起を取付穴側

根元まで押し込む

スペーサー(丸形)

ナット

取付穴

回り止め

便器洗浄ユニット

△印表示

⑧ハンドルを取り付ける。

① **印を右**にしてストッパー-Aをはめ込み、皿ねじで固定する。

注意
ガタツキがないようにしっかり締め付けること **印を右**

②「カチッ」と音がするまでハンドルを差し込む。

シールを貼る

④玉鎖の長さを調整する。

排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたります)

注意
【玉鎖の長さ調整】
・玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと

たるみすぎ **張りすぎ**

排水弁(大) 排水弁(小)

1~2玉

1~2玉

既定のクリップを使用してください。

※右給水の場合もレバー(ピンク)は、排水弁(大)、レバー(灰)は、排水弁(小)になります。

ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない

弁が開いていて止水しない

⑤ハンドルと排水弁の作動を確認する。

- ①ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ②レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ハンドルを「大」側に回したときは、上下両方の排水弁が開くこと。
- ④ハンドルを「小」側に回したときは、上側の排水弁のみが開くこと。

小洗浄
大洗浄

共通

④コードフックの取り付けとコードの配線

①コードフックを取り付け、コードを配線する。

①コードフックを貼り付ける。

(1) 陶器表面の水滴をふき取る。
(2) 付属のサンドペーパーで貼り付け面をこする。
(3) 水につからない位置に貼り付ける。

樹脂タンクカバー

②コードはふたの切り欠き部を通して配線する。

切り欠き部

コード

コードフック

コードはふたでつぶさないこと

②便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む。

①それぞれのプラグを受信ユニットに差し込む。(下図参照)

②下に回転させ、カバー内に収める。

受信ユニット

差し込む

便器洗浄ユニットのプラグ

回転して挿入する

受信ユニット

差し込む

ACアダプターのプラグ

回転して挿入する

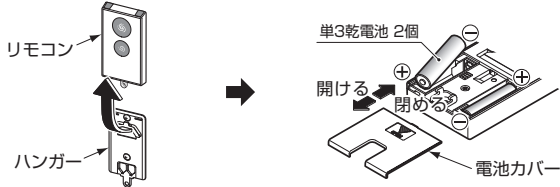
注意
プラグを逆に差し込まない
壊れる可能性があります。

禁止

共通

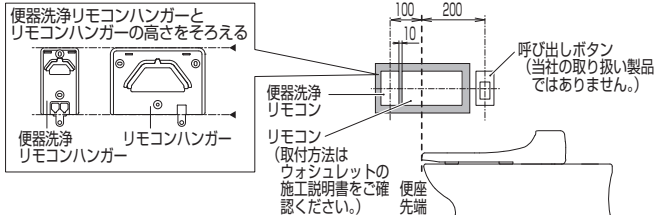
5 リモコンと受信ユニットの取り付け

- ① リモコンとハンガーを取り外す。
- ② リモコン裏面の電池カバーを開け、単3乾電池2個を正しく入れる。

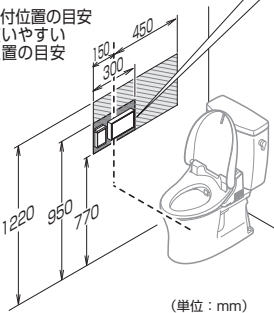


- ③ リモコンの取付位置を決める。

公共トイレ操作系JIS (JIS S 0026) に対応する場合は、下記位置に取り付けてください。



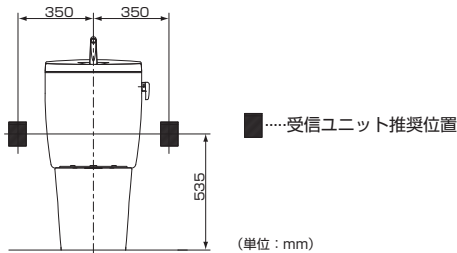
斜線...取付位置の目安
 灰色...使いやすい位置の目安



【作動の確認】

- ① 「流す(大)」ボタンを押して便器洗浄を行うことを確認する
- ② 作動しない場合
 ▶ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
 ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が動作しないことがあります。
 ● 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
 ● 黒っぽい天井や壁のとき
 ● インバーター方式の照明下のとき

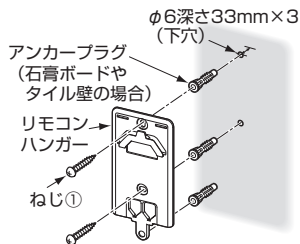
- ④ 受信ユニットの取付位置を決める。



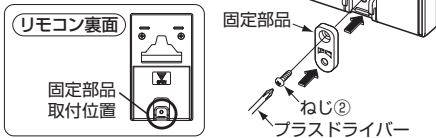
リモコン部

- ⑤ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける。

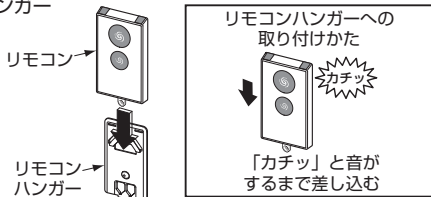
- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



- ⑥ リモコンに固定部品を取り付けてセットする。

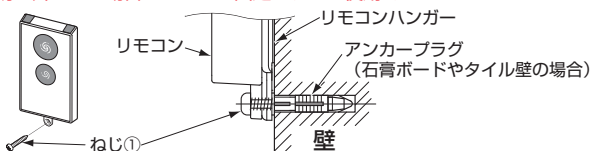


- ⑦ リモコンをリモコンハンガーにセットする。



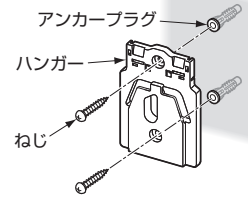
- ⑧ リモコンハンガーとリモコンをねじ①で固定する。

※容易に外したい場合は、ねじを固定せずにご使用ください。



受信ユニット部

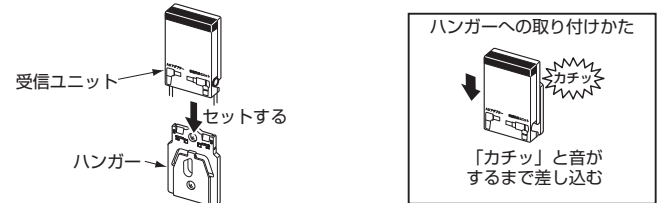
- ⑨ ハンガーをねじで壁に取り付ける。
 ● 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
 ● 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



- ⑩ ハンガーの固定板取付位置(左右2カ所)に固定板を差し込む。



- ⑪ 受信ユニットをハンガーにセットする。

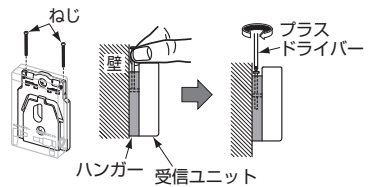


- ⑫ 固定板の穴にねじを差し込み、プラスドライバーで止まるまで締める。

※容易に外したい場合は、ねじを固定せずにご使用ください。

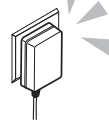
※プラスドライバーは、先端が細めのタイプ(ビットサイズ: No.1または精密ドライバー)を使用してください。

※ねじが止まったあと、さらに締め付けると、ハンガーなどが破損するおそれがあります。



- ⑬ ACアダプターをコンセントに差し込む。

ACアダプターの差し込みプラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。

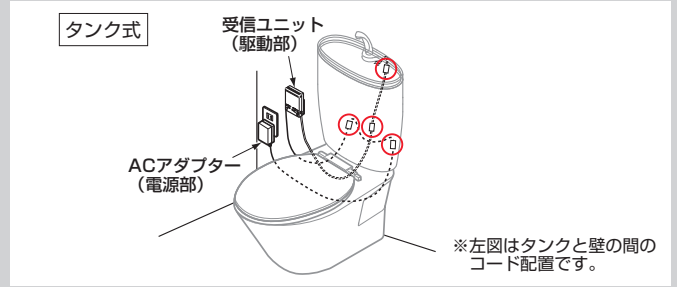


警告



ACアダプターは、必ずコードが下向きになるように取り付ける。コードを上向きに取り付けると、ACアダプターの差し込みがあまくなり、感電の原因になります。

コードフックの取り付け時に余ったコードフックは、配線がたるまないようタンク背面に貼り付けて使用してください。



取り付け後の確認

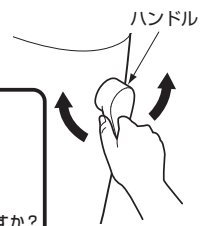
- ① ロータンクの止水栓を開ける。

- ② 手で便器洗浄を確認する。

ハンドルを手で操作して、便器洗浄が大・小洗浄とも正常に行われることを確認する。

正常に作動しない場合

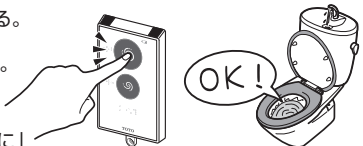
- ハンドルは正しく取り替えましたか？
- 玉鎖を大小間違えて取り付けいませんか？
- 玉鎖がたるみすぎ、張りすぎていませんか？
- ボールタップが正しく取り付けられていますか？
- 浮玉がレバーと干渉せず、真下に下りるように取り付けられていますか？



- ③ リモコンによる便器洗浄を確認する。

「大」「小」スイッチを押して便器洗浄を行うことを確認する。
 ※連続して押しと作動しません。
 10秒以上間隔をとってください。

※連立対応については「取り付け前」をご参照ください。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。